

修了生の活躍事例

ポリテクで人生が変わりました！ 就職に強いポリテクなら安心です！

前職をやめてから、また住宅建築の現場に出て働きたいと思っていましたが、前職での経験不足や内勤業務への不安から少しでも**自信をもって再就職**をしたいと思っていました。そんな時、株式会社マクスの現場監督の先輩もポリテクの修了生だということを知り、自分もポリテクへ行って勉強することを決めました。ポリテクセンター静岡では、建築を学べる訓練コースでリノベーションデザイン科と住環境コーディネート科の2科あり、現場に出て、多能工（現場作業員・現場監督等）として働いていくならと思え、大工工事をメインとしながらもCADなども学べるリノベーションデザイン科を受講することに決めました。

株式会社マクス

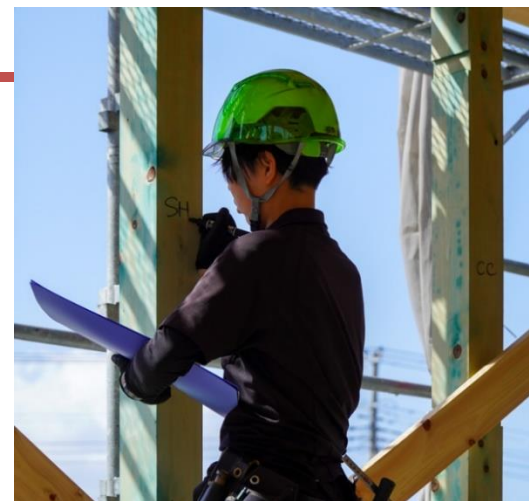
佐野 実咲 (23歳)

[⇒前職：見習大工（正規）]

リノベーションデザイン科

（導入訓練付き 7か月訓練）

令和 4年 12月 入所
令和 5年 5月 早期修了



ポリテクに通ったのは、本当に刺激的でした。

何と言ってもカリキュラムの多さです。未経験者を対象にした訓練コースが設定されている為、段階的に授業が進んでいきます。初めの座学では、部材名称と役割や法規、構造計画など習得しながら、CADを使った図面作成方法を学んでいきます。座学の集大成の3ヶ月目には、木造住宅の設計課題を行い、プレゼン資料も作成しました。4ヶ月目から実技訓練に入り、大工道具の取扱いから継手・仕口の作成を行い、1畳程度の模擬家屋製作を行います。自分の目指す道が明確であった為、どんどん吸収することが出来、同時期に入所した仲間たちと切磋琢磨して学ぶことが出来ました。

将来、現場のリーダーになりたいと思っています。

今の会社で働き始めて約1年半が経過しました。現場監督として、先輩の現場監督から指導の下、リフォーム工事での監督業務を行ったり、先輩たちの仕事をみて、教えてもらいながら一緒に作業をさせてもらうこともあります。その経験は、将来現場監督として急所のポイントを分からないまま指示を出すだけでなく**作業者の気持ち**を考え、的確な指示やアドバイスが出来るようになって考えていますので、現場での各工事に積極的に携わり、施主様からも作業者的の方々からも信頼される現場監督になれるよう頑張ります。

就職先企業での活躍

佐野 実咲さんの業務

現場監督として、木造住宅の工程管理や原価管理、品質管理、安全管理を先輩の現場監督に同行し、学んでいます。監督としての的確な指示を出すため自身の作業経験も必要と考える為、技術研修修了後に、社員大工の先輩方と洗面化粧台やキッチンタイルの施工作業をさせていただきました。



採用者の声 代表取締役 鈴木 克彦 様

ポリテクセンターの訓練コースで未経験の業種や作業を経験し、他社の会社訪問などもした上での入社希望だったので、入社後のお互いのミスマッチの心配がなく、入社後も新しい仕事に素早く順応できたようで安心しました。非常に真面目に真剣に仕事に取り組んでくれているので大成してくれることを大いに期待しています。



株式会社マクス（静岡県富士市）

現在ポリテクの修了生2名が活躍

企業理念「妥協のない家づくりで家族が笑顔で安心して一生を暮らせる心まであたたかくなる空間を提供し続ける」をモットーに、社員全員がこの気持ちで日々仕事に向き合っています。お客様の安心できる暮らしを実現するために、マクスの家は、デザインだけでなく全棟構造計算、最高等級である耐震等級3を取得しています。自社で構造計算をするので、耐震性を確保しながら、気持ちの良い大開口のリビングをデザインできるのが、マクスの強み。ぜひ一度右のQRコードからHPをご覧ください。

（営業品目）◆新築 ◆リノベーション ◆増改築・リフォーム ◆定期メンテナンス ◆その他

HPは
こちら

